

留学報告書:TNI サマープログラム 2023(2023/8/23～2023/8/31)

建築学科 学年 4 学生番号 2031202 青木優奈

○留学の日程(学期開始/終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください)

日程	スケジュール
8 月 23 日 (水)	現地到着
8 月 24 日 (木)	大学にてオリエンテーション(タイの紹介・ダンスと音楽)
8 月 25 日 (金)	大学にて(タイ語の勉強・グループチャット)
8 月 26 日 (土)	自由時間(カフェ&タイ式マッサージ)
8 月 27 日 (日)	自由時間(午後からマーケットでお土産)
8 月 28 日 (月)	企業訪問・アユタヤ訪問(伝統衣装の着付け)
8 月 29 日 (火)	ホテルで療養(コロナ陽性)
8 月 30 日 (水)	ホテルで療養(コロナ陰性)
8 月 31 日 (木)	午前→ホテルで療養、午後→セレモニー・パーティー
月 日 ()	
月 日 ()	
9 月 1 日 (金)	日本帰国

留学報告レポート

留学生生活全般について、①留学目的の達成度②留学、学習、国際理解への意欲に関する留学前後の意識の変化、③今後の長期留学の意欲等を含めて 2000 字程度で報告してください。

今回、初めての海外で、初めてのプログラム参加でした。まずは、一日ごとの動きを説明します。

1 日目は、移動日でした。ホテルには午前中に到着し、疲れていたもので、そのままベッドで 3～4 時間ほど眠ってしまいました。その後、歩いて 10 分ほどのスーパーマーケットに行き、夜ご飯を買いました。ミネラルウォーターは必須です。

2 日目は、大学でのオリエンテーションでした。歩いて 10 分ほどのところに大学があるので、とても便利です。大学やタイについての紹介や、タイのダンスと音楽について学びました。対日工業大学について驚いたことについて、日本語の授業が必修だということです。日頃から日本語に触れる機会が多くあるというのはとても良いことだと感じました。留学生の方も、日本に来たことのある方もおり、日常会話がペラペラでした。音楽を学ぶ際には、楽器を触ってみたり、リズムを取ってみたりと、多種多様な楽器に触れられる良い機会でした。図書館に行くと、日本の歴史の本や、有名な日本の漫画もありました。夜ご飯は韓国料理を食べに行きました。赤くなくても辛いです。大皿をシェアするというスタイルのようで、食べ応えがありました。

3 日目は、大学の方との交流でした。タイ語の勉強や、タイの遊びをしました。タイ語は発音が難しく、アクセントをつける箇所など、難点が多くありました。遊びについては、じゃんけんをして、列を作るという遊びなどをしました。小さいころにやったことのある遊びもありましたので、懐かしさを覚えました。放課後は、大学の方とナイトマーケットに行きました。お土産で人気のタイシルクもお手頃な値段で売っており、他にも T シャツやフィギュアなども売っているお店もありました。

4 日目は、自由時間でした。午前中はホテルのプールに行き足のみ浸かりました。その後は、「gram」というお店に行き、パンケーキを食べました。午後からは、大学の方にタイ式マッサージに連れて行ってもらった。かなり内臓に来るマッサージでした。この辺りで少し体調を崩し始めてしまいました。

5 日目は、大学の方に午後から「チャトゥチャック」というマーケットに連れて行ってもらいました。電車を乗り継いだので、少し遠かったです。全体的に象をモチーフにした製品が多かったです。象は、タイの人たちにとって特別な存在のようです。

6 日目は、企業訪問とアユタヤ訪問でした。企業は、日本でも有名な「テイジン」という会社です。タイでは、ポリエステルを作っている会社のようです。実際に繊維を触らせてもらいましたが、つるつるした感触でした。アユタヤ訪問では、伝統衣装の着付けをしていただきました。アクセサリを多く身に着けるため、少し重かったです。衣装は、様々な色があり、選ぶのに時間がかかりました。アユタヤには、首のない石像や、木の根に包まれた仏像の頭など、なぜそうなっているか分からないものがあり、とても神秘的でした。

7 日目と 8 日目はホテルでの療養でした。前日の夜にコロナ陽性となったため、2 日間、ホテルで療養しました。マングローブ植樹に参加できなかったことは残念でしたが、1 人でゆっくり休む時間も必要と感じました。療養中は、これまであったことを記録したり、部屋で YouTube を観たりしていました。症状は、のどの痛みと咳でした。8 日目には陰性になりました。

9 日目の最終日は、午後から大学に行きました。ちょうど、セレモニーを行っているところで 1 人 1 人に賞状を渡しているところでした。私も無事、受け取ることができました。空港まで大学の方が見送りに来てくださりました。とてもうれしかったです。

留学目的の達成度と致しましては、半々です。「タイの歴史や文化に触れたい」という目的は、実際にタイ米を食べたり、アユタヤで歴史に触れたり、様々な機会がありましたが、「マングローブ植樹にて、津波の被害を軽

減させることに貢献したい」という目的は、コロナ陽性になってしまったため、参加不可となってしまいました。

留学、学習、国際理解への意欲に関する留学前後の意識の変化と致しましては、留学以前は、タイについて、インターネットなどで調べる以外に方法がなく、知識として蓄える範囲に限界がありましたが、実際にタイに行き、大学で交流したり、現地の方とマーケットなどに行くことによって、現地の、日本との違いについて実際に触れることができました。

今後の長期留学の意欲等については、私は、初めて海外留学をしたため、経験値としては計り知れないものになったと思います。ですので、今後も、海外留学など、将来、そのような機会があれば、その国の歴史や文化を下調べし、参加できるものがあれば積極的に参加し、現地の言語に触れ、多様な言語を話せるようになりたいです。

留学報告書:TNI サマープログラム 2023(2023/8/23～2023/8/31)

経営コミュニケーション学科 学年 4 学生番号 2023121

○留学の日程(学期開始/終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください)

日程	スケジュール
8 月 23 日 (水)	現地到着
8 月 24 日 (木)	タイについての講演・タイの伝統舞踊とタイの音楽
8 月 25 日 (金)	タイ語入門
8 月 26 日 (土)	自由行動
8 月 27 日 (日)	自由行動
8 月 28 日 (月)	企業訪問・アユタヤ遺跡訪問
8 月 29 日 (火)	マングローブ植樹・リゾートでバカンス
8 月 30 日 (水)	リゾートで自由時間
8 月 31 日 (木)	タイ学生との交流・日本帰国

留学報告レポート

留学生生活全般について、①留学目的の達成度②留学、学習、国際理解への意欲に関する留学前後の意識の変化、③今後の長期留学の意欲等を含めて 2000 字程度で報告してください。

1 の目的の達成度について、私は留学目的の大きな一つは異文化交流をしたかったことだ。私はこれまで海外旅行をしたことがなく、国内旅行にもあまり行ったことがない。さらに飛行機にも乗ったことがなかったので、異文化交流はもちろんいろんなことが初めての留学生活だった。実際、異文化交流という面では現地の学生や観光地の人との交流が多くあり、大変充実していた。泰日工業大学の学生さんは日本語が必修となっていたので、タイの学生さんはタイ語、日本語、英語の三言語を使える方が多くいた。皆さん勤勉でいて日本が好きな方が多くいたので、基本は日本語で話し、分からないときは英語で、さらに難しい単語や文章を用いるときにはタイ語で話してもらって Google 翻訳を使用しての会話をしていた。そのため、コミュニケーションをとる際には特に不自由はなく、異文化交流が目的だった私からすると観光や現地の人と触れ合うことが出来た。また、留学プログラムの中でもタイの民謡音楽を聞くことや、体験すること、民族衣装を着て世界遺産のアユタヤ遺跡を巡ったこと、タイ語を学ぶとともにそれを使う機会を用意されたこと、さらにはタイの学生さん、その中でも日本語を学びたい学生さんと主に日本語を使うことで話すウェルカムパーティーのようなものがあり、大いにプログラムの中に異文化交流が組み込まれていた。さらにはその日その日のプログラムが終わってからや、土日の自由行動など自分から動くといくらでも様々な体験をできた。その中でも日本だとおそらく夜市と訳されるだろうが、ナイトマーケットにいったことや夜のタイ、バンコクの街を巡ったことはとても貴重な体験をできたと思う。これらのように一つの異文化交流をしたかったという目的は達成できたと思う。

2 の留学前後の意識の変化について、大変変わったと思う。留学意欲に対して、元々私は海外については渡航したことはないし、興味を持っているものの行動に移したことはなかった。しかし、今回は大学4年生で就職するということもあり、このタイミングで海外に行かないと一生行かないのではないかという不安もあって勇気を持って行動した。タイへの短期留学が終わって帰国し、落ち着いてから友人と次はどこ国に行こうかと話しているくらいだ。それこそ、留学前は学習に向けての意識がほとんどなく、強いて言うと英語を中学、高校、大学と学習したくらいとしか言えない。しかし、留学中でさえ、タイ語の勉強について文法や発音、アクセントなど主体的に学習していたと言えるし、現地のタイ人に積極的に話しかけていたともいえる。更にはタイの学生さんにどんどん色々な単語や文法の違いや英語の会話を通して、学習していた。普段の英語の勉強と比べて、タイで学んだタイ語は現地で学んで、その場で使える言葉ばかり学習していたこともあり、すぐに実践の機会があるし、なんで伝わらないのかをその人に聞きながら、直して、再度確認で発音するという復習の機会まであった。比較的苦手なイメージがあった外国語もいまではないと言い切れるくらいにはなった。

3 今後の長期留学についての意欲としては、悔しいながらも大学 4 年生で来年度から就職ということもあり、チャンスはなかなか無いと言えるだろう。もし、私が現在、2, 3, 4 年生だった場合お金が溜まり次第すぐにでも行きたい。それこそ経営コミュニケーション学科としてある「チャレンジアブロードプログラム」に参加して、外国語を学びながら実践の機会として海外に発つということはしたい。さらに今回のタイへのサマープログラムに次の年も参加したいし、いつそのことイギリス等のヨーロッパにも行ってみたい。しかし学校の補助がないとんでもない金額になることは分かるので、もし行くなら 20 代後半とか 30 前半あたりでお金が溜まり、円安円高の経済状況や国際状況にも気を配って、絶対に行きたい。直近では友人と卒業旅行として、韓国や台湾、中国等の近場の海外に行こうと計画している。そういったこともあり、今回の留学のきっかけで長期留学をしたいとは思いますが、どうしても私自身の都合により長期留学はできなそうなので、私一人もしくは友人等と一緒に海外旅行して見聞を広めていきたいと思う。

現在でも仲良くなったタイの学生さんとは SNS にて話す機会もあり、また、タイに行きたい。今度はタイ語を学習して、タイ語でタイの学生さんとお話してみたいと思うくらい目標もできた。今回のこのタイへの短期ではあったが、留学に行き、貴重な体験が出来て本当に良かったし、後輩たちにはどんどんこのプログラムに参加してほしいと心から思えるような9日間だった。

留学報告書:TNI サマープログラム 2023(2023/8/23～2023/8/31)

経営コミュニケーション学科 学年 4 学生番号 2023123 白鳥駿

○留学の日程(学期開始/終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください)

日程	スケジュール
8 月 23 日	現地到着
8 月 24 日	オリエンテーション、ウェルカムランチ、伝統舞踊
8 月 25 日	タイ語入門
8 月 26 日	寺めぐり、マーケット観光
8 月 27 日	ショッピングモール巡り
8 月 28 日	企業訪問、ワッターラームにて民族衣装を着る
8 月 29 日	マングローブ植林、フアヒンビーチでの観光
8 月 30 日	バンコクへの移動、お土産購入
8 月 31 日	TNI 学生との雑談、修了書授与式
9 月 1 日	日本帰国
月 日	
月 日	

留学報告レポート

留学生生活全般について、①留学目的の達成度②留学、学習、国際理解への意欲に関する留学前後の意識の変化、③今後の長期留学の意欲等を含めて 2000 字程度で報告してください。

留学生生活を通じて、留学目的の達成度について非常に満足しています。留学の主な目的は、外国での学業を通じて新しい知識を習得し、国際的な視野を広げることでした。これに関して、私は期待以上の成果を上げることができました。

まず、泰日工業大学での授業にて、タイ語の基礎知識を学ぶことができました。授業内では泰日工業大学の学生との対話形式での学習により、より実践的かつ実用的な学習を行うことができました。この経験は私の言語スキルを向上させ、国際的なコミュニケーション能力を高めるのに役立ちました。

また、学外でも泰日工業大学の学生との交流があり、タイ語だけでなく、英語の学習にもつながりました。しかし、タイ人の英語には独特の訛りがあり、リスニングの難しさや、自身の英語能力による伝えきれないもどかしさを感じました。この経験から、帰国後には英語学習へのモチベーションが高まり、次回の海外経験ではよりコミュニケーションがスムーズに取れるよう努力したいと考えています。

さらに、異なる文化やバックグラウンドを持つ仲間との交流を通じて、国際的な視野を拡げ、異なる観点からの学びを得ることができました。これは将来の国際的なキャリアにおいて非常に価値のある経験であり、今後も留学を通じて成長し続けたいと考えています。

日本では体験のできないことによる刺激も多くありました。観光スポットに行けば嘘を言われツアーに誘われたり、ご飯は辛いものが基本的に多いため、店員さんに自分の意思を伝えることの大切さであったり、野犬が多く襲われそうになることもあったりなど、楽しいことだけではなく怖い部分も経験できたため良い刺激になったとともに勉強になった。

留学前後の意識の変化としては、留学前は学習と国際理解に対する意欲は高かったものの、留学に関する実際の経験がなかったため、不安もありました。しかし、留学後、私の意欲はさらに高まりました。

学習に関して、留学先の大学での高品質な教育に触れ、自身の専門分野に対する情熱がさらに燃え上がりました。新たな知識と視野を開く経験が、学問への情熱を深め、将来のキャリアに対する自信を高めました。

国際理解についても、異なる国から来た友人や異文化の体験を通じて、世界の多様性と共通性をより深く理解しました。これらの経験から、国際社会でのコミュニケーションや協力の重要性を強く認識し、国際的な視野を持つことの価値を実感しました。

タイ人との交流は、初めての留学の中で不安は多かったものの、今回のプログラムの中では各大学からの仲間とのコミュニケーションにより非常に有意義なものになりました。異なる文化やバックグラウンドを持つ仲間との交流を通じて、相互理解が深まり、国際協力の可能性に気付きました。

国による差異はあるかもしれませんが、タイに関しては一人だと不安や怖さが多い部分もあると考えており、今後の留学や旅行の中では一人で動くことだけではなく、仲間との連携によるメリットをより重要視し、協力と共感を大切にする姿勢を育てました。

留学前後の意識の変化について、留学前は学習と国際理解に対する意欲は高かったものの、留学に関する実際の経験がなかったため、不安もありました。しかし、留学後、私の意欲はさらに高まりました。留学先の大学での高品質な教育に触れ、自身の専門分野に対する情熱がさらに燃え上がりました。また、国際理解についても、異なる国から来た友人や異文化の体験を通じて、世界の多様性と共通性をより深く理解しました。これらの経験

から、学び続け、国際社会への貢献を考える意欲が増しました。

タイ人との交流は初めての留学の中で不安は多かったものの、今回のプログラムの中では各大学からの仲間とのコミュニケーションにより非常に有意義なものになったと考えています。国による差はあると思いますが、タイに関しては一人だと不安や怖さが多い部分もあると考えており、今後の留学や旅行の中では一人で動くことだけではなく、仲間と動くことによるメリットを考えることも大切だと感じました。

今後の長期留学への意欲については、留学生活を通じて得た貴重な経験から、今後も長期留学に積極的に参加し、国際的な視野を更に広げたいという意欲が高まりました。長期留学は、個人的な成長だけでなく、専門的なキャリアにも大きなプラスとなると確信しています。将来的には、エンジニアとしてのキャリアを積みつつも、グローバルな視野を持ち、国際的なフィールドで活躍したいという夢を抱いています。そのためには、留学や英語学習を通じて、国際社会で通用する専門知識を深化させる必要があると考えています。

総括すると、留学生活は私の人生において非常に価値のある経験であり、留学目的の達成度や学習意欲、国際理解に対する意欲に大きな影響を与えました。これからも国際的な視野を保ち、国際社会に貢献できるよう、精進していきます。

留学報告書:TNI サマープログラム 2023(2023/8/23～2023/8/31)

経営コミュニケーション学科 学年 4 学生番号 2023147 渡邊丈二

○留学の日程(学期開始/終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください)

日程	スケジュール
8月 23日	現地到着
24 日	TNI 学生と交流・タイの伝統楽器と伝統舞踊を学ぶ
25 日	TNI 学生と交流・タイ語入門
26 日	Free
27 日	Free
28 日	会社見学・遺跡巡り(by bus)
29 日	マングローブ植林体験・Huahin(hotel)に 宿泊
30 日	Thaya Hotel に戻る
31 日	Farewell Party/日本帰国

留学報告レポート

留学生生活全般について、①留学目的の達成度②留学、学習、国際理解への意欲に関する留学前後の意識の変化、③今後の長期留学の意欲等を含めて 2000 字程度で報告してください。

今回の九日間のタイ国際交流留学を通して、「マンペンライの精神」・「共生」という二つの言葉を大きく目的として話していましたが、満足のいく達成度になりました。

「マンペンライの精神」とは問題に対して柔軟に対応しようという考え方のことで、九日間を振り返ると、タイの学生や一般の方は何か起こる問題に対して、すぐに次の代替案を考える様子が見受けられました。起きていることに対して真摯に向き合うタイ人の人柄を見て学ぶことが多くありました。

「共生」に関しては私だけでなく、今後の社会で必要とされることでもあります。その言葉の通り共生をするにはいかに対面で接し、文化や習慣を感じ取るか、固定概念を剥がすことができるかが大切なことだと思います。去年のイギリス留学で海外志向性が高まり、将来の海外勤務を目標としている私にとってイギリス・タイで生活を経験できたことは有意義なものとなりました。

イギリスとタイを経験したことで、比較しながらそれぞれの国の良さを大いに感じることもでき、それぞれの人間性や価値観を学べたことで、海外の人とコミュニケーションを取るときの障壁が一つずつ無くなってきていると実感できました。

今回のタイ留学の経験より、タイという街も学ぶことができました。マングローブ植林を通してマングローブ減少の問題や、それによって生態系が脅かされている問題を知ることができ、私たちが少しではあるが植林体験をする意義があると感じました。またバンコクといった中心地では大きなショッピングモールが立ち並んだりと発展が進んでいると感じたが中心地から外れると貧困だなど感じる瞬間が多々あり、生活の現状を知ることで自身の日常生活についても改まる瞬間になりました。タイの学生は本当に勉強熱心な人が多く、日本語が堪能な学生も多くいて自身の語学学習のモチベーションが向上する瞬間でした。

在学中に二つの国に滞在する経験できたことで、グローバル社会の一員という自覚を持ち、自分ごととして問題を捉えていこうと思いましたし、柔軟な思考が身につきました。海外の土地で 1 人で散策する、コミュニケーションをとってみる、そういった経験が最も成長を感じる瞬間でした。自立するきっかけになりましたし、1 人で乗り越えることができたので、大きな自信になりました。

イギリスでは 3 週間、タイでは 9 日間と合計してもそこまで長い時間滞在することはできていません。そういったことも含めて、タイ留学以前より言語学習・国際理解への意欲が大きく増しました。

留学報告書:TNI サマープログラム 2023(2023/8/23～2023/8/31)

情報通信工学科 学年 2 学生番号 2212257 長瀬直也

○留学の日程(学期開始/終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください)

日程	スケジュール
8月 23日 (水)	現地到着、タヤホテルに移動、自由行動
8月 24日 (木)	泰日工業大学訪問(オリエンテーション、タイ伝統舞踊とタイ楽器演奏)
8月 25日 (金)	泰日工業大学訪問(タイ語入門、グループチャット)
8月 26日 (土)	自由行動
8月 27日 (日)	自由行動
8月 28日 (月)	企業訪問、ワット・チャイ・ワッタナーラーム見学、ワット・マハタート見学
8月 29日 (火)	マングローブ植林、ラディソンリゾート&スパ・チャアム・ファヒンに移動
8月 30日 (水)	タヤホテルに移動自由行動
8月 31日 (木)	泰日工業大学訪問(現地学生との談笑、修了証書授与式、ウェルカムパーティー)
9月 1日 (金)	日本帰国
月 日 ()	
月 日 ()	

留学報告レポート

留学生生活全般について、①留学目的の達成度②留学、学習、国際理解への意欲に関する留学前後の意識の変化、③今後の長期留学の意欲等を含めて 2000 字程度で報告してください。

1 留学目的の達成度

留学目的としては、日本とビジネスパートナーとしての関わりが強いタイで、日本の海外進出の実態や日本の文化が持つ影響などを実際に目で見て知り、自分の考えや価値観の幅を広げ、成長に繋げるというものだったが、自分の考えや価値観を広げるという観点では、かなり達成できたのではないかなと思う。その最も大きな要因は、現地の学生との交流だ。現地の泰日工業大学の学生は、こちら側がほぼ全くとっていいほどタイ語ができないのにも関わらず、流暢な日本語や、日本語ができない人も試行錯誤しながら熱心に伝えたいことを伝えてくれた。それによりかなり円滑なコミュニケーションをとることができ、現地の人の日本人とは少し違った考え、風習について理解を深めることができた。さらに、泰日工業大学の学生とのコミュニケーションによってほぼ全員が呪術廻戦やワンピースをはじめとした日本のアニメ、藤井風や YOASOBI などといった日本のアーティストのファンであることが分かり、日本の文化が持つ影響力の大きさも知ることができた。泰日工業大学の学生以外にも、現地の方々とのコミュニケーションで文化的なものが分かったり、他大学の留学生とは真剣に将来について話し合っ先輩にはアドバイスも頂けたりしたので、また違う成長に繋がったと感じる。さらに人との対話だけでなく、トゥクトゥクに乗ろうとすると執拗に迫ってくるぼったくり水上ツアーの勧誘や狂犬病を持っているかもしれない野犬に夜追いかけられる経験から人間として強くなれたと思う。

2 留学、学習、国際理解への意欲に関する留学前後の変化

留学前は、正直軽い気持ちでこの留学のプログラムに応募したことで、英語もそれほど得意ではないのに大丈夫なのだろうか、ましてや公用語はタイ語という全く分からない言語を話す国でまともに交流することができるのだろうか、と不安しかなく国際理解も多少現地の方と話してできればよいかという程度だった。しかし留学を終えた今、今回の留学や英語の学習意欲、国際理解への興味がある。まず今回の留学への意欲は、今回の留学が非常に充実していたことから出ている。留学前の個人的な想像としては、留学ではタイの大学での日本とは異なる授業が大半を占めていてあまり自由な時間はないのだろうと考えていた。しかし、実際には座学のようなものはほとんど無く、自由な時間がかかなりあり、プログラムの中にもアユタヤなどの遺産を巡る項目があったため、観光としてもタイを十分に満喫することができた。自由な時間が多すぎても暇になってしまうと思ったのだが、思い返してみると暇だと感じた瞬間は一度もなく、自由時間には泰日工業大学の学生が観光やご飯に誘ってくれるため、言語の壁を越えて楽しく交流することができ、充実した時間を過ごすことができた。学習への意欲というのは、主に英語の学習だ。泰日工業大学には日本語をそれなりに話せる方がいたのだが、大学外では当然日本語は通じず、英語ならまだ通じるということが多くあった。偶然仲良くなった東北学院大学の方が英語が堪能だったため、自由時間の主な交通手段であったタクシーを手配する際など、何度も助けていただいた。もしその方がいなかったら充実度は半減していただろう。そのときに英語能力の重要性を再確認し、就職までには外国の方との会話で数分は途切れない程度の英語能力を身に付けたいと考えている。余裕ができれば今回多少学んだタイ語や近隣の国である韓国の韓国語、行ってみたいヨーロッパの言語にも挑戦したい。国際理解に関しては、現地の方との交流や街を歩いている中で、チップの文化など気になった点はいくつかあったため、他の国ではどうなのかの比較も行ってみたいと考えている。

3 今後の長期留学の意欲

前述した通り、今回の留学への意欲はあり、今回のような10日程度の短期の良さを感じながらも、長期の

留学にとっても興味がある。今回の留学後半で、昨年に1か月に渡るロンドン留学を経験した大学4年の渡邊さんが、「ロンドン留学のときは一緒に授業を受けるクラスがあってそこで同じになった人と今でもたまに会うけど、短期だとそこまで親しくなるのはなかなか難しいよね」といった発言をしており、そこから、1か月にも渡る長期の留学をしたらどれほど仲間と親しくなれるのか、どれほどたくさんの経験を積むことができるのか気になる、長期留学への興味が湧いた。個人的には長期留学をするならサッカーが盛んなヨーロッパや世界を中心であるアメリカあたりに行きたいと考えているが、長期留学には短期留学よりさらに費用がかかるため、慎重に考えようと思う。在学中に長期留学が叶わなかったとしても、就職して仕事に慣れてきたら、自分の金で海外を飛び回りたい。